

# ナース・オブ・ザ・イヤー授賞式

今年で14年目を迎える『ナース・オブ・ザ・イヤー 今年最も輝いた看護職員』。この賞は、前年度1年間に看護師が看護活動の様々な分野で人一倍努力し、患者さんの看護や業務上の改善等に貢献したことを同僚間で認め、看護部内で審議の上選考されます。看護師には、キャリアに応じた役割課題がありますが、それ以上に特別な活躍をした看護師を各部署が選出し、選考の上表彰します。

今年は約530名の看護師の中から3名が選ばれました。この3名はいずれもリーダー看護師であり後輩のモデルとなる人材です。部署における看護の質向上のために、課題に真摯に向き合い、継続して取り組んだことを評価しました。

今後のさらなる活躍を期待しています。



看護部長あいさつ 副病院長・看護部長 廣瀬 泰子

ナース・オブ・ザ・イヤー表彰は、例年5月に行っていますが今年は新型コロナウイルス感染症の影響で10月21日に実施しました。選ばれた3名は看護師としての経験年数は異なりますが、各々精神科、小児科、糖尿病内科等の分野で活動し、患者さんや他の看護師からの信頼を得ています。3名の受賞を称えるとともに、今後の更なるリーダーシップ力の発揮を期待しています。



東9階病棟

NURSE

近藤 和樹さん



この度は表彰を賜り誠にありがとうございました。病棟や外来、精神科リエゾンチームで患者さんや医療スタッフのこのころのサポートをさせていただく中で、特に看護部の理念でもある「思いやり」を大切にされた看護を心掛けています。今回の受賞を励みにし、今後もメンタルヘルスの向上のために努力していきます。



西4階病棟

NURSE

堀江 真由さん



このような賞を頂きありがとうございました。私は日頃より患児の成長発達やご家族の思いを大切にされた看護を心掛けています。昨年度は終末期の患児を担当し、患児やご家族の希望を実現するために、他職種やチームで協力し退院を実現することができました。今後も患者さんの思いを大切にされた温かい看護を行ってまいります。



西7階病棟

NURSE

皆川 佳那さん



今回このような賞を頂いたのは、支えてくださった管理者の方々、病棟スタッフ、患者さんのおかげであり、とても感謝しています。学習会企画や実地指導者など新たなことに挑戦させて頂くとともに、糖尿病療養指導士としてスキルアップをさせて頂きました。これからも自身の経験を活かしより良い看護を提供していきたいと思っております。